



成瀬台中学校だより

令和6年度—第11号—

Tel (042)728-6030 HP <http://www.machida-tky.ed.jp/j-narusedai/>

令和7年3月25日発行

学校目標

[自主]個性を生かし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



伝統を受け継ぐということ

校長 福田 秀樹

校庭のソメイヨシノの花芽は、硬い鱗弁の先が割れ、ようやく浅い緑がのぞき始めています。「桜」の語源の一つに、『古事記』に登場する「木花之佐久夜毘売(このはなのさくやひめ)」があるそうです。

そして、「春」の語源は、「発(は)」「張る」で、木々の芽がふくらんでくる様子を意味するのだそうです。ここ数日の陽気に誘われて、学校周辺の木立にも梢(こずえ)から淡い春の色が動き出したように感じられます。

「世の中は三日見ぬ間に桜かな」(大島蓼太)〔蓼太句集〕

「うすべにに葉はいちはやく萌えいでて咲かむとすなり山桜花」(若山牧水)〔山桜の歌〕

3月19日(水)の卒業式の式辞の一部をあらためて紹介します。

皆さんは学年の先生方に心を耕され、そしてかわいがられ、仲間同士で互いの内面を耕し、さらに、皆さん自身が先生方の心も耕してきた3年間だったと強く感じます。

一人の人間として耕され、また周囲を耕した皆さんだからこそ、伝えたいことがあります。

吉野源三郎さんの岩波文庫版「君たちはどう生きるか」について、皆さんに何度か話をしてきました。文庫版に収められている丸山真男さんの『君たちはどう生きるか』をめぐるとの回想についても話をしてきました。丸山さんは、「君たちはどう生きるか」というタイトルは生き方だけの「問い」でないことを述べています。

ここに〈問い〉がある、私たちの〈課題〉がある——。に始まる丸山さんの一文を3年生のフロアにも掲示しています。そこに次の一説があります。

「地動説への転換は、もうすんでしまって当たり前になった事実ではなくて、私達ひとりひとりが、不断にこれから努力して行かねばならないきわめて困難な課題なのです。

そうでなかったら、どうして自分や、自分が同一化している集団や「くに」を中心に世の中がまわっているような認識から、文明国民でさえ今日も容易に脱却できないのでしょうか。

つまり、世界の「客観的」認識というのは、どこまで行っても私達の「主体」の側のあり方の問題であり、主体の利害、主体の責任と、わかちがたく結びあわされている、ということ、その意味で、まさしく私達が「どう生きるか」が問われているのだ、ということ、著者(吉野源三郎)はコペルニクスの「学説」に託して説こうとしたわけです。」【ここまでが引用】

入学以来、皆さんに、学校が時間と空間を共有することと同様に、地球もそこに住む人々と時間と空間を共有していること、そうであるならば、世界で起こっていることについて無関心、他人事(ひとごと)ではなく、自分事として考えることの大切さを伝えてきました。

しかし、丸山さんの一文が示すように、現代の進化した社会でも人々は自分中心に物事を考え、そこから簡単に脱却できない難しさがあることを伝えていきます。

我々を取り巻く世界は、感染症や自然災害、地球温暖化、複雑化する国際情勢など、世界規模の課題を抱えた未来の予測が困難な時代になっています。飛躍的に進化するAIを活用して世界的規模の課題に対し、正解のない「問い」を立て、解決へ導くことはできるかも知れません。

しかし、私たちが問われている「どう生きるか」について、一人一人の不断の努力が必要であり、課題や問いを共有できる仲間が存在が不可欠です。

皆さんは、その頼もしい仲間をつくる方法をこの中学校3年間で学んでいます。

この成瀬台中学校で身に付けた自律・感謝・決意をもとに、さらに大きく成長してほしいと願っています。

以前の学校だよりで、3年生が合唱コンクールにどのような想いで臨み、そのことをどのように受け継ぐかについて、「この3年生の誇り(覚悟や想い)が、下級生に引き継がれていくとき、成瀬台中学校の素晴らしい伝統となっていくのだと思います。」と書きました。つまり、伝統を受け継ぐということは、決して形ではなく、先輩たちが築いてきた「覚悟や想い」を受け継ぐということです。そして、受け継いだ「たいまつ」の火をより一層大きくしながら進んでほしいと願っています。

令和6年度の本校教育活動も無事最終日を迎えることができました。学校運営協議会の皆様、保護者・地域の皆様の御理解と御協力、御支援に心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

教育活動の様子

1年間を総括して



保護者会への御出席、ありがとうございました。各学年の設定した指導目標の達成状況を振り返り、次年度に向けた方針等をお伝えさせていただきました。

また、卒業式予行後には、東京都スポーツ協会体育優良生徒(第3学年男女1名ずつ)、体育努力生徒(第3学年女子1名)の表彰を行いました。

祝！卒業！！



3月13日(木)昼休みには体育委員会から3年生に「感謝の舞」と題してダンスでお祝いと感謝の気持ちを伝えました。

3月14日(金)は「第3学年 感謝の会」を開き、PTA コーラスに加えて、校長先生と第3学年の先生方のサプライズ登場で本気の合唱でお祝いました。

上級学校訪問・球技大会



3月14日(金)第2学年は上級学校訪問として都立成瀬高校で授業体験を行いました。探究学習の進め方や高校数学の見方・考え方、英語を使って言い換えたり説明したりする学習を体験しました。

3月21日(金)、24日(月)には第2学年、第1学年がそれぞれ球技大会を実施しました。球技の他にも、パフォーマンス披露の場面もあり、実行委員が趣向を凝らして運営しました。

「えいごのまちだ」教育の推進



3月7日(火)に英語の授業でキルギスの中学生とオンライン交流を実施しました。お互いの国について英語を使ってプレゼンテーションを行い、クイズ形式で交流することで、相互理解を深めました。

3月11日(火)には生徒が実際のコミュニケーションに英語をどれだけ活用できるかを評価する英語コミュニケーションテスト(ESAT-J)を第1・2学年で実施しました。

4月のおもな予定

日	曜	内 容	備 考
1	火	分掌部会、教科部会、学年会	
2	水	校内研修会①～③	
3	木	校内研修会④・⑤、部活動顧問会議、学年会	
4	金	春季休業日終、校内研修会⑥ 職員会議、分掌部会、学年会	
5	土		
6	日		
7	月	始業式、職員会議、学年会	
8	火	入学式、特設委員会	SC、1年クラス写真撮影
9	水	学年時間割始、生活指導集会、安全指導、 職員会議、生徒会ガイダンス始、部活動紹介	2・3年クラス写真撮影
10	木	保護者会(3年) 14:00～	
11	金	身体計測、保護者会(2年) 14:00～	仮入部期間始～4/25まで
12	土		
13	日		
14	月	正規時間割開始、全国学力調査(3年) 生徒会一斉委員会	B時程 サポートルーム開始
15	火	生徒会中央委員会	
16	水	中教研一斉部会	B時程、午前授業
17	木	保護者会(1年・ポプラ) 14:00～、歯科検診	
18	金	離任式、弁当給食始	特別時程
19	土		
20	日		
21	月	避難訓練、生徒会中央委員会	
22	火	内科検診(1年)13:05～	
23	水	職員会議	教育実習打ち合わせ16:00～
24	木	学校運営協議会、心臓検診(1年)13:20～	
25	金	生徒総会	仮入部期間終
26	土		
27	日		
28	月	部活動一斉部会	B時程
29	火		
30	水	部活動保護者会14:00～、尿検1次	午前授業、



SC:スクールカウンセラー勤務日

鯉のぼり絶賛募集中!